

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふれんず甲子園		
○保護者評価実施期間	令和7年1月10日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	令和6年12月10日		～ 令和6年12月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラム・イベント行事が充実しています。 ⇒支援の満足度保護者から子供が楽しんでいると声をいただいております、その結果利用予約が高くなっています。	月に1回、職員会議を設けて、全員で新しいプログラムの提案、作成等を話し合っています。 (公共交通機関を使った活動、消防署見学、夏休みのプール行事、児童からのリクエスト等)	要望(リクエスト)、流行り等を取り入れたり、新しい学習教材の確保など、児童が楽しんで学べる(身につく)ものを取り入れていきます。
2	だよりの配布、SNS発信など、活動内容がオープンな形にできています。	毎月利用者様向けのおたよりの作成、週に1回活動内容のようすをSNSにて発信しています。	だよりのフォーマットをより見やすくしたり工夫を重ねていけたらと思います。
3	個別支援計画について 5領域等、計画に沿った配慮を行っています。	多職種からの意見が取り入れられています。 支援開始前、終了後でしっかりと時間をとって打合せや振り返りをできています。	非常勤職員にも参画してもらおう機会を増やしていきたいと感じています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	年齢に応じた生活空間への配慮が必要と感じます。 (トイレ設備、マットや壁の防止策、床補修など)	①低学年児童のトイレ使用時に、ホルダーに手が届かない事が起きています。 ②身体を動かすプログラムを実施している為、特に気にかけてないといけないと感じています。	①トイレホルダーの位置調整を行います。 ②さらなる保護材の使用、活動前の点検を行います。
2	緊急時に関する動きについての経験値が少ないと感じます。	てんかんが起きたとき、アレルギー、送迎中に地震が起きたときなど、想定外のことが起きた時の経験・体験がないことが要因と考えています。	マニュアルの更新に加えて、よりリアルを想定した訓練やシミュレーションを実施していきます。
3	地域等との外部交流の機会が少ないと感じています。	イベント行事の予定が2カ月先になるため立てづらいことが要因と考えています。	掲示して目にふれる機会を増やしたり、地域のイベント等情報収集に力を入れていきます。 地域イベントが難しいことを考慮し、同法人との合同行事(運動会)等も計画して設定していきます。